

# 令和6年度（小学校）出張出前授業の成果と今後の方向性

## 1 令和6年度 出前授業等実績一覧 （当館HP公開題材「千葉市立郷土博物館 出前授業」で検索）

申込み学校名	題 材	実施日	参加人数	学級数
①幕張小学校 3年	いも神様 青木昆陽（今年で5年目）	6/5	75名	3学級
②海浜高浜小学校 3年	美浜区の埋め立ての歴史	6/28	22名	1学級
③検見川小学校 6年	鎌倉時代の武士の戦い方 （博物館の甲冑での体験活動）	9/5・6	133名	4学級
④朝日ヶ丘小学校 4年	令和元年の千葉市の大きな台風被害	9/13	56名	2学級
⑤朝日ヶ丘小学校 6年	鎌倉時代の武士の戦い方 （博物館の甲冑での体験活動）	9/26	54名	2学級
⑥さつきが丘東小学校 6年	鎌倉時代の武士の戦い方 （博物館の甲冑での体験活動）	10/3	47名	2学級
⑦幕張西小学校 6年	千葉常胤と源頼朝（開府900年関係）	10/18	110名	3学級
⑧朝日ヶ丘小学校 3年	昔の道具によって変わってきた生活 （博物館の昔の道具での体験活動）	10/25	38名	3学級
⑨柏台小学校 3年	校門の前を蒸気機関車が走っていたの （学校の100年 陸軍鉄道連隊の話）	11/13	48名	2学級
⑩生浜西小学校 3年	昔の道具によって変わってきた生活 （博物館の昔の道具での体験活動）	12/6	85名	3学級
⑪西の谷小学校 4年	水害と戦った染谷源右衛門	12/18	87名	3学級
⑫柏台小学校 3年	道具によって変わった私たちの生活 （博物館の昔の道具での体験活動）	1/22	48名	2学級
⑬西の谷小学校 4年	900年絶えることなく続いた妙見大祭	1/31	87名	3学級
⑭幕張西小学校 6年	埋め立てから見る、戦後千葉市の拡大・成長・発展（オリジナルの授業計画）	2/7	110名	3学級
⑮西の谷小学校 4年	さつまいもと幕張の歩み （オリジナルの授業計画）	3/7	87名	3学級
集計 学校数 9校 学年数 15学年	授業実施題材数 10題材 （HP公開題材数・・・16題材中）	授業実施 日数 16日	累計児童 数 1103名	実施学級 39学級

◆授業相談・資料相談・・・生浜西小学校 3年（生浜地区の昔の様子）・幕張西小学校 6年（上記⑭）  
西の谷小学校 4年（上記⑮）

## 2 本年度の出前授業の成果（資料相談や授業相談からの授業申し込み）

### （1）様々な教員研修や授業研究への授業相談と、それに応えた資料提供

○本年度は学校からの依頼で、様々な教員研修（5年目研修）や授業研究（県教研・市教研）支援の授業相談や資料相談を行った。「このような内容で授業考えていますが、どうでしょう？」「博物館には、こんな資料はありますか？」の相談があった。そこで、学校ではなかなか準備できないような博物館の資料を学校に持参して、授業や資料のアドバイスや相談を行った。このような依頼は昨年度から少しずつ増えてきた。現在市内の学校職員の年齢構成や時間的制約から、多様な要望が増えてきている。そこで当博物館の出前授業も、学校の様々な依頼に応えられるように授業支援を工夫しながら、博物館としての機能を発揮していきたい。

## (2) 学校の要望に応じて千葉市の「各学校の歴史」や「地域の歴史」を掘り起こし、授業実践を行う

- ①約 100 年前に稲毛区や花見川区の小学校校門のそばを蒸気機関車(旧陸軍鉄道連隊)が走っていた
- ②「戦後千葉市の町村合併で、人口 3 万人～98 万人の大都市になった歴史をふりかえり、開府 900 年を見据えて、10 年後の千葉市を姿を予想する」

本年度は学校からの希望で、2つの題材で「学校周辺の地域や千葉市の歴史」を掘り起こし、博物館の資料を生かしながらオリジナルの授業実践を行った。子供達は 50 年や 100 年前には、今からは想像もつかないような歴史が身近にあったということを知り、とても驚いていた。

この様な授業は、現場ではなかなか時間的制約もあり教材化は難しいと考えるので、資料が豊富に揃っている博物館の特徴を生かし、申し込みがあれば「開府 900 年」に向けて積極的に千葉市の様々な地域や時代の歴史を掘り起こし、先生方や子供達に千葉市の歴史の姿を提供していきたい。

## (3) 博物館の収蔵品を生かして、体験的な活動を多く取り入れた授業を行う

本年度も、博物館の収蔵品（武士の甲冑、昔の道具等）を活用した体験的学習の授業を多く行った。これは、授業後の教師アンケートで博物館の収蔵品を学校へ持ち込んで体験的な授業を行ってほしいという学校の要望を授業に反映した。今後も博物館所蔵資料を生かした授業を行っていきたい。

## 3 出前授業後の教師や児童のアンケート調査より（1部抽出）

### (1) 教師のアンケートより・当館の出前授業についての感想

- 地域の歴史など、資料を集めることが難しい内容について様々な準備をしていただけるのは、とてもありがたいです。
- 当日の授業だけでなく、貴重な資料もたくさんいただけて授業後に役立ちました。申し込み方法も簡単で、他の先生方にも、ぜひオススメしたいです。
- 歴史を学ぶ上での視点について教えていただけたのが、とても良かったです。
- 私自身も授業時間中にのめりこんで参加することができました。現地の画像があったのが、とてもわかりやすいと思いました。
- 自分で探すと大人向け資料が多い中、子供向けの資料を準備してくれたり、子供にわかりやすく編集し直して提供してくれるので大変助かります。

### (2) 児童のアンケートより・①歴史学習の楽しさについて

- たくさんの歴史に関係する人々の関わり合いやつながりを知ることができるのが、今一番おもしろいと思っています。(6年)
- 私は歴史が苦手でしたが、千葉市の歴史に関係した人物のことを知ることができて、とてもおもしろいと思ったので、少しだけ自分が成長できた気がしてうれしかったです。(6年)
- 色々なことを知ることができて、いつもの社会科とは違う楽しさがあり、またやりたい。(3年)
- ぼくにとって歴史上の人物は、色々な考えや知らないことを教えてくれる人だと思った。(4年)

### 児童のアンケートより・②博物館の資料を見て感じたことや、体験しての楽しかったことについて

- 体験などはなかなかできないから、もともと好きだった社会科がもっと好きになった。(6年)
- 先生が楽しく説明してくれたので、幕張のことがもっとも好きになったし、昔のことももっと調べてみたいと思うようになりました。(4年)
- 今の道路が昔機関車の線路だったのが、とてもびっくりした。千葉公園に今のトンネルが残っているのがすごいと思った。(3年)
- ぼくが知らなかった千葉市のことが知ることができて、とても役に立った。もっと千葉市の昔のことを知りたくなった。郷土博物館にもぜひ行ってみたい。(3年)

### 3 出前授業の実施後の各観点別の分析

#### (1) 本年度の出前授業申し込みを受けた学校は、昨年度と異なる学校がほとんどであった

博物館の出前授業は今年5年目を迎え、千葉市の各小学校で広がりを見せてきていると思われる。

#### (2) 過去5年間の出前授業の申し込み学校数の変遷 (1校で複数申し込みあり)

○出前授業の申し込み学校数が、開始から5年間で安定的に増えてきている。

○今年度は申し込み学校は、昨年度とは異なり、新規申し込みの学校が多かった。

○令和2年度～6年度の5年間で、郷土博物館の出前授業を行った小学校の総数は32校ある。

これは、千葉市小学校総数107校中の約30%である

#### (3) 出前授業の累積参加児童総数 (本年度出前授業参加児童数 1103名)

実施年度	3年生	4年生	5年生	6年生	合計数
令和5年度	475名	246名	112名	215名	1048名
令和6年度	332名	317名	0名	454名	1103名

①出前授業に参加した児童累積数は昨年度よりやや増えて1103人であった。3年連続して1000人以上の児童に授業を行うことができた。これは、より良い授業を子供たちに提供したいという現場の先生方の熱意と協力に支えられた賜物であり、本年度の大きな成果であった。

②4年～6年の参加児童数が増えた。特に6年の参加児童数が大きく増加した。6年生は「甲冑を活用した体験活動」の申し込みが多く、博物館の収蔵物や様々な諸資料を活用した「博物館の出前授業らしい授業」を多く行うことができた。

③本年度は、HP上で公開した題材以外の授業実践が2校あった。その結果、昨年度よりも授業の参加児童数が増えた。

#### (4) 出前授業実施した累積学級数の傾向 (授業実施回数 37回 授業実施学級数37学級)

	3年生	4年生	5年生	6年生	合計数
令和5年度	15学級	8学級	4学級	9学級	37学級
令和6年度	14学級	11学級	0	14学級	39学級

○本年度授業実施学級数は、3・6年生が多かった。3年と6年の体験活動の申し込みが多かったためだと考えられる。

#### (5) 申し込み学年数の傾向 (授業実施学年数 15学年)

	3年生	4年生	5年生	6年生	合計数
令和5年度	7学年	4学年	1学年	6学年	17学年
令和6年度	6学年	4学年	0	5学年	15学年

○3年は館内で所蔵している「昔の道具」、6年では館内所蔵の甲冑を使った「鎌倉時代の武士の戦い方」等の博物館の収蔵品を活用した体験活動の学習をしてほしいという申し込みが多く、資料を豊富に所蔵している博物館の長所を生かした学習ができた。

「開府900年」を見据えた「千葉常胤(千葉氏)」の学習の申し込みも増えてきた。

#### (6) 出前授業や打合せのための学校訪問日数 (年間授業訪問日数 18日)

○本年度は、出前授業のための学校訪問日数は、16日間と令和5年度とほぼ同程度であった。

さらに、授業を実施するためには必ず事前に学校を訪問して、担任の先生方に指導案や資料や渡して話し合うための打合せを必ず行っている。そのため本年度も、資料相談のために訪れた日数も含めて1年間で35日間、各学校を訪問させていただいた。

#### 4 本年度の課題と、次年度に向けての改善方針について

(1) 学校の様々要望に応じて「オリジナルな授業作り」や「授業相談や資料相談」も充実させたい。

○本年度も学校から「うちの地域に合わせて授業を作り変えてくれないか」「既存の学習プログラムにはないが、こんな授業はできませんか?」という要望が様々にあった。学校の要望のきっかけは、授業研究、学校行事、学校実施イベントであるが、そこで当館からは「では、この様なプログラムを考えたが、いかがですか?」という提案をしていった。

各学校には児童や地域の実態で様々な要望があるので、次年度以降も各学校の要望にあった「オリジナルな授業づくり」や「授業相談や資料相談」活動を充実させていきたい。

(2) 千葉市各地域にねむる史実をほり起こして、「千葉市各地域の昔を学ぶ学習」の充実をさせたい

○中央区・稲毛区・花見川区の授業として「100年前、学校の校門前に蒸気機関車が走っていた(戦前の旧陸軍鉄道連隊の話 3年)」を取り上げた授業実践や、美浜区の授業として「戦後の千葉市が町村合併や埋め立てを通して大都市へ変貌していく戦後80年の歴史の様子」の授業を行った。

この授業の特徴は、豊富な資料や写真を備えている博物館だからできた授業プランであった。

来年度も「開府900年」を見据えて、**千葉市の昔を学ぶ学習**を各学校に提案していきたい。

(3) 出前授業プログラムに体験的活動を、より多く取り入れていきたい。

○体験的学習の授業は、博物館の資料を学校に持ち込み児童自身が「見る・さわる・動かす」等の活動を行う授業である。デジタル化が進む今の学校だからこそ、このような体験的学習の重要だと思われる。既存の授業もさらに工夫をこらして体験的活動をなるべく多く取り入れた授業提案していきたい。